

# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

### ● 第70回 ●

#### ■ クラス別自戦記

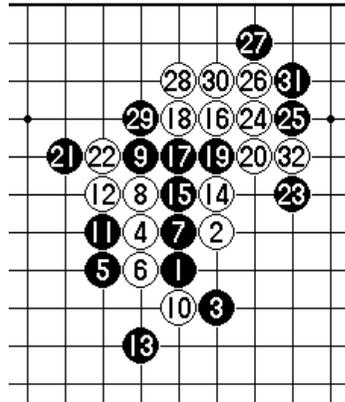
前号でお伝えしたように、また単身赴任となった。その特権？を生かして、久しぶりに京都クラス別に出場することができた。まあ厳しい結果になるとは予想していたが、何と優勝してしまった！今回はその報告をしよう。

クラス別に参加するのはいつ以来だろうか？初めて参加したのはもう30年前になる。その時はAとCクラス、特別クラス、そして少年や女性のクラスもあって、それはもう賑やかであつた。最近の参加者の減少は致し方ないのかもしれないが、やっぱり寂しい。特別クラスだけはいつも2桁の参加人数のようだが、その他のクラスが少ない。

遠来の岡部君やあこちゃんも来ていたが、遠来の選手が目立つ活躍をしてほしいものだ。

さて、1局目にいきなり大角君と当たってしまった。当たらないよりは当たった方がいいのだが、1回戦は避けたかった。仮先となつたので浦月五題を指定。

<黒:大角>



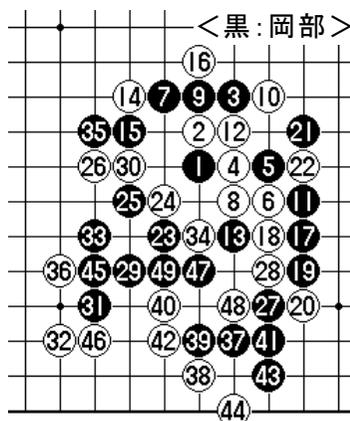
昔の研究を思い出しながら進んだ。白10は古い作戦と思うが、私の中ではここまではしか進んでいない。黒13まではこう打ってくると思つていた。白14、16が研究だったが、黒17を伸び

ないと、白17で白必勝になる、とは覚えていた。大角君もそれは知っていたよう。黒17と伸びた。それでも白が勝てたと思つていたが、勘違いだったようだ。

だが、黒21が？という手で、打たれた時はビックリした。黒23と打たれて納得したが、単に黒23では白に21に突き出されるのが嫌だったようだ。だが、さすがにこれは勝ちだろう、と思ひ白24から引き出した。ただ、白28を打つ時になって、あれ？黒29を一路左で勝てない！焦っていたら、大角君は黒29と止めてくれた。これには白30・32と引いて以下止めなら三々禁、上止めなら四々禁となる。後で調べたら白26を引かずには28なら、明快な白勝ちだった。だから黒21では24と防ぐべきだった。それなら白は勝てなかっただろう。白は上辺を利かして下辺に防ぐことになるが、研

究課題だ。2回戦は岡部君と。優勝候補2人と続けて当たることになり、少々準備不足だったが、それも言つてはもられない。

<黒:岡部>



予想通りの溪月八題だが、黒を取る勇氣もない。結局いつものように何となく白を取つた。黒5が入つていたのでそれを残したが、白14から突つ込むのはさすがにもう無理だろう。今回初めて白14と自重したが、ここからの打ち方は全くの素人だ。白16は手堅く打つたのだが、26から叩いた方が逆に手堅かった。

黒17に打たれるのは辛い  
 が、先に17に伸びるのは  
 何となく早く負ける気がし  
 た。こういう所は長年の経  
 験だろうか、気持ちのいい  
 所に打ってもらって逆に焦  
 りを誘う打ち方が、昨今の  
 デジタル世代に対抗する一  
 つのやり方とも思っている  
 (いや、単なるいい訳?)

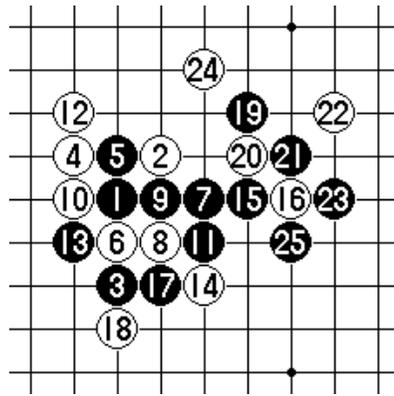
それにしても、黒23はさ  
 すがにいい手だった。あき  
 らめそうになったが、白24  
 26でもうひと踏ん張り。た  
 だ、黒27に対する白28が弱  
 気だった。せめて48に打つ  
 所だろう。お互い時間がな  
 くここからは叩き合いにな  
 ったが、黒33と含まれては  
 ダメだろう。白28の欠陥を  
 咎められてしまった。

これで1勝1敗だが、3  
 人が三つ巴の可能性もある  
 ので、あとは勝っていくし  
 かない。

続いては石谷九段戦を。  
 明星を指定されたので黒を  
 取り、以下黒11まですらす

らと進んだ。ここでふと見  
 ると白12を反対止めが厄  
 介だと思えてきた。実戦は  
 白12と止めてきたので、黒  
 19と中村名人の手を打つ  
 て以下黒勝ちとなった。

<白:石谷>

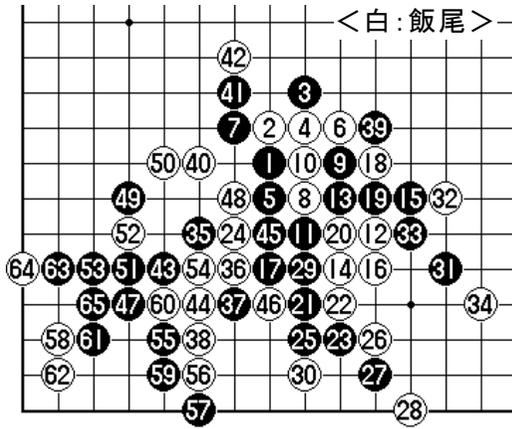


で、局後検討でも家に帰  
 ってから調べても、白12を  
 反対止めの時の黒勝ちが見  
 つからなかった。今までど  
 うして打たれなかったのだ  
 か?と思うのだが、実戦的  
 には打ちにくいのだろう。

続く畑戦に勝ち、最終局、  
 飯尾さんと当たることにな  
 った。飯尾さんは白が好き  
 なので、溪月七題を指定さ

れた。勇気を持って黒を取  
 ることにしたが、白4と打  
 たれてたちまち黒5に困る  
 ことになった。これまでに  
 ずいぶん講評もしてきたが、  
 五珠を覚えることはしてい  
 なかった。よし、これから  
 は五珠の勉強もしよう!

<白:飯尾>



もともと飯尾さんは黒5  
 を打たせるつもりだったの  
 で助かった。これならちよ  
 っとは研究したことがある  
 黒9は39よりも急所で手  
 堅いと思う。白10と入る手

は面白くないが、じっくり  
 打とうという意図なのだろ  
 う。黒11に対し、白12、14  
 はやってくるかもと思つて  
 いたが、短気の飯尾さんら  
 しい攻め方だ。似た形を昔  
 よくやった気がするのだが  
 こういう所は二連を止める  
 のが優先となることが多い  
 三を先手で引かれるのが痛  
 いからだ。そういう意味で  
 は黒15がびったりで、黒17  
 から19が気持ちのいい展  
 開だ。しかし、白20がなか  
 なか粘りのある防ぎで黒も  
 うかうかできない。黒25ま  
 ではこう打って悪いはずは  
 ないのだが、勝ちが分から  
 ずに黒31で白模様を手を  
 入れることになった。しか  
 し、黒31あるいは35で54  
 に打てば快勝だった。それ  
 に気づかず黒39とさらに  
 手を入れるのではもう捕ま  
 っている。最後はお互い時  
 間に追われたが、白58の敗  
 着に救われた。今回は無欲  
 の優勝であった。